

# 週 報



2016 年 年頭標語

創造主、天の父母様に似た、  
真の愛を実践する  
天一国の真の主人になろう！



世界平和統一家庭連合

FAMILY FEDERATION for WORLD PEACE and UNIFICATION  
(旧 世界基督教統一神霊協会)

加賀家庭教会

教会長：石垣 重広

## み 言

### <申命記6章4節～9節>

イスラエルよ、聞け。我々の神、主は唯一の主である。あなたは心をつくし、精神を尽くし、力を尽くして、あなたの神、主を愛さなければならない。きょう、私があなたに命じるこれらの言葉をあなたの心に留め、努めてこれをあなたの子らに教え、あなたが家に座している時も、道を歩く時も、寝る時も、起きる時も、これについて語らなければならない。またあなたはこれをあなたの手につけてしるしとし、あなたの目の間に置いて覚えとし、またあなたの家の入口の柱と、あなたの門とに書き記さなければならない。

### <詩127-3>

「子供たちは神から賜った嗣業であり、胎の実は報いの賜物である。」

### <申命記11章13節～21節>

…それゆえ、これらの私の言葉を心と魂におさめ、またそれを手に付けて、しるしとし、目の間に置いて覚えとし、これを子供たちに教え、家に座している時も、道を歩く時も、寝る時も、起きる時も、…そうすれば、主が先祖たちに与えようと誓われた地に、あなたがたの住む日数は、天が地を覆う日数のように多いであろう。

### <安待日を守る意義>

「双合十勝日」は、縦的な面においては、五月五日が、五数と五数が一つになって「十勝日」です。その次に、横的な面では、四月までの「先天時代」と五月からの「後天時代」の二つが合わさって転換されるのです。それで、「双合十勝日」なのです。

蕩滅時代の終焉、摂理時代の終結です。上下、周辺のすべてのものの秩序が定まり、神様を中心として、神の祖国と愛の平和王国時代が到来するのです。すべてのものがそこに接続することにより、地上・天上天国、開放された解放の天国、愛の天国が始まるのです。

「十勝日」は、五月五日です。そして、四月と五月を左手と右手でつかんで神様を中心として一つにし、「先天時代」を終わらせてしまうことによって、「後天時代」勝利の覇権的愛の主権世界を迎えるのです。ですから、万国平和の解放的神様が主人となる世界に帰るといえるのです。

それで「十勝日」が重要なのです。「十勝日」は、縦的には五月五日であり、横的には、四月と五月を神様が左手と右手で握り、上下に、前後に逆さまに回っていたものを、下を上にして反対に回すことにより、本然の世界に戻ってきて安着侍義ができる時代になるのです。ですから、「安待日」を定めて記念するのです！

私たちは、安息日の代わりに「安待日」を守るのですが、その日は祝宴をして、そこに訪れる食口たちは、自分に良いものがあれば、一つでも持ってきて食口たちに分けてあげなければならない、またそうでなければ、お金を集めて貧しい人たちに分けてあげるのがよいのです。何か残せることをしてこそ、あの国、天上世界に行くときに、礼物の倉庫をもって神様にお捧げできる立場に立つので、「よくやった。よく来た」と神様が歓迎されるのです。

天の国の祝宴を開ける大解放、釈放、天地が相続されて自分のものになるので、神様が私のお父様であり、私の主人であり、私のものになるのです。